



各報道機関文教担当記者 殿

包括的連携協定に基づく助成金で 将来有望な若手研究者が研究成果披露

金沢大学と北陸銀行は、平成20年6月に締結した「包括的連携協力協定に関する覚書」の連携事業の一環として、若手研究者の育成を通じて我が国の基礎的・基盤的な学術研究の発展に寄与することを目的に、平成21年1月に「北陸銀行若手研究者助成金制度」を創設、本学の将来有望な若手研究者に対する研究支援を行っております。

このたび、第1回・第2回に助成を受けた若手研究者による研究成果の報告会を開催いたします。

北陸銀行若手研究者助成金 第1回研究成果報告会

日 時 平成24年2月29日（水） 13:30～15:45
場 所 金沢大学大会議室（本部棟6階・角間キャンパス）
プログラム 別添チラシのとおり

つきましては、事前及び当日の取材・報道にご協力くださるよう、よろしくお願いいたします。

【参 考】

第1回：平成21年3月採択（研究期間 平成21年3月～平成22年2月）

第2回：平成22年3月採択（研究期間 平成22年4月～平成23年3月）

応募資格：満39歳以下で、金沢大学に所属し、研究活動を行うことを職務に含む者（教員、研究員など）

本件照会先

研究国際部研究推進課学術調整係

山代 Tel：264-5034

担当

広報戦略室 福田

Tel：264-5024

北陸銀行



若手研究者助成金 研究成果報告会

～第1回・第2回助成金採択者による研究成果の報告～

日時：平成24年2月29日（水）13:30～15:45
場所：本部棟6階 大会議室

【プログラム】

13:30-13:35	開会のあいさつ		
		理事・副学長	長野 勇
13:35-13:40	来賓あいさつ		北陸銀行
13:40-13:50	胆管癌の浸潤・転移機構に関する病理学的研究	医薬保健研究域医学系・講師	佐藤 保則
13:50-14:00	胃がん発生に関わる宿主反応の役割の研究	がん進展制御研究所・助教	大島 浩子
14:00-14:10	万能細胞の根幹をつかさどる分子メカニズムの解明	医薬保健研究域医学系・助教	赤木 紀之
14:10-14:20	ヒト内在性siRNAの機能の解明	医薬保健研究域医学系・助教	毎田 佳子
14:20-14:30	薬物トランスポーターによる神経系前駆細胞の増殖・分化能制御機構	医薬保健研究域薬学系・准教授	中道 範隆
14:30-14:40	休憩		
14:40-14:50	光学活性環状ホスト分子“Pillar [5]arene”の合成及び光学分割への応用	理工研究域物質化学系・准教授	生越 友樹
14:50-15:00	局所表面剛性可変の表面を持つロボットハンドの開発	理工研究域機械工学系・准教授	渡邊 哲陽
15:00-15:10	黄砂が運ぶ微生物群と伝統発酵食品業の関わりあい～いしるは中国からの贈り物～	理工研究域物質化学系・准教授	牧 輝弥
15:10-15:20	マイクロケルビン級超低温で実現する強相関電子系物質の圧力誘起量子臨界現象	理工研究域環境デザイン学系・准教授	大橋 政司
15:20-15:30	技術促進型環境規制の政策イノベーションと地域産業の創出に関する研究—アメリカ・カリフォルニア州における自動車排ガス規制のケーススタディを通じて—	人間社会研究域経済学経営学系・准教授	佐無田 光
15:30-15:40	「キャッシュフロー／リスク分離型財務報告モデルの研究」	人間社会研究域経済学経営学系・教授	竹島 貞治
15:40-15:45	閉会のあいさつ	研究国際部長	千葉 正

問合せ先：研究国際部研究推進課学術調整係 tel: 076-264-5034、5295、fax: 076-234-4016、e-mail: rdefence@adm.kanazawa-u.ac.jp

北陸銀行と金沢大学は、「国立大学法人金沢大学と株式会社北陸銀行との包括的連携協力協定に関する覚書」（平成20年6月9日）に基づき、若手研究者の育成を通じて、我が国の基礎的・基盤的な学術研究の発展に貢献することを目的として、研究助成を行っております。助成金は、北陸銀行からの寄付となっており、平成21年度（第1回）より毎年行っております。